

# 令和2年度授業改善推進プラン

## 東村山市立東村山第五中学校 第3学年

教科等	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策 【主体的・対話的で深い学び】
国語	知識及び技能	漢字の習得状況は概ね良いが、練習した通りの熟語でないと読んだり書いたりするのが難しくなる場合も多い。覚えた知識を「使っていく」ところに課題があるので、そこを鍛えていきたい。	漢字ドリルを最終ページまで進めたら、中学校で学習した漢字を様々な熟語で復習する。単元の中で既習事項を使用する場面を積極的に設定していく。
	思考力, 判断力, 表現力等	基本的な思考力・判断力は身につけているので、領域を越えた発展的な思考・判断ができるように力を伸ばしていきたい。表現する力は伸びてきているが、内容に一貫性をもたせることに課題がある。	何が既習事項であるかを意識させ、単元の中でその既習事項と既習事項を結びつける意識をもたせる。書く時でも話す時でも、表現する内容が一貫するよう指導する。
	学びに向かう力, 人間性等	課題にじっくり向き合うことはできるが、自分の考えを表現することに臆病になっている生徒もいる。授業で学んだことを、生活の中で実践しようとする意欲をさらに伸ばしていきたい。	課題に応じて取り寄せ方を工夫して、自分の考えを積極的に表現できるように授業をつくる。学習内容が生活の中のいつ役に立つかを明確に伝えていく。
社会	知識及び技能	授業で学習した内容を家庭で復習したり、考査前に学習している生徒は概ね知識・技能の定着が図られている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で使用しているプリントを必ず記入させ、仕上げる指導を徹底させる。</li> <li>・考査前・長期休業中の補習も必要に応じて行う。</li> </ul>
	思考力, 判断力, 表現力等	社会科学的分析・考察・判断・表現力などは課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①情報を読み取る力、記述で表現する力を育成する教材を開発・作成する。</li> <li>②学習内容を厳選し、①を実践する授業時間を確保する。</li> </ul>
	学びに向かう力, 人間性等	学習内容に対して、関心・意欲のある生徒とそうでない生徒が見られその傾向が学習の成果に明確に反映している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像資料の充実・活用。</li> <li>・学習成果を記録させる。</li> </ul>
数学	知識及び技能	基本的な知識は定着しつつあるが、既習事項の定着度の差がある。計算力等の反復練習で身につく技能は高まりつつある。	授業で随時、既習事項の確認を行い、生徒の基礎力の定着を高める。反復練習の機会を設けて、技能がより定着するように指導する。
	思考力, 判断力, 表現力等	基礎の活用について課題のある生徒が多い。複数の基礎事項を組み合わせる課題解決に活用する思考力と、思考過程を言葉として表現する表現力に課題がある。	各単元との関わりが意識できるような、複合的な問題を扱うことで、既習事項を組み合わせる課題解決する思考力を高める。
	学びに向かう力, 人間性等	理解が不十分な課題に対して、意欲的に解決に取り組む意欲が向上している。他者への学習指導を通して理解を深めている生徒もいる。	対話的な「教えあい活動」や「自己の考えを伝える活動」を通して、生徒同士が互いに学びに向かう力を高めあえるようにする。

# 令和2年度授業改善推進プラン

## 東村山市立東村山第五中学校 第3学年

教科等	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策 【主体的・対話的で深い学び】
理科	知識及び技能	基本的な知識が定着しつつある生徒もいるが、既習事項については生徒によって定着の程度に差がある。観察・実験については、班員で協力して意欲的に取り組んでいる。実験技能も高まってきている。	基本的事項については、授業で既習事項の振り返りも交えながら行っていく必要がある。観察・実験技能については、安全で自主的な活動を心がけるようにする。
	思考力, 判断力, 表現力等	課題に対して、自分で考えて文章表現することが苦手な生徒が多い。重要用語などを暗記すればよいという理解で満足してしまう傾向が見られる。	実験の結果やまとめを覚えるだけでなく、その過程を理解し、自ら考えて文章で表現できるように指導していく。
	学びに向かう力, 人間性等	身の回りの現象として身近なものは、観察や実験を通して考えたり理解したりすることに興味がある生徒はいる。学習活動への関心・意欲の差も多い。	身近で具体的な例を示したり、既習事項などを織り交ぜながら授業を展開し、生徒の関心・意欲をひき出す工夫を継続する。
音楽	知識及び技能	新型コロナ感染防止対策のために歌唱の授業を見送った期間が長かったことで、基礎的な知識を習得する時間ができた。そのため、例年より多くの知識を増やすことが出来たり、振り返ることが出来た。ただし技能面では、リズムとバイオリンのみで歌唱は今後取り組んでいく。	楽譜にアーティキュレーションを書き込ませたり、自分でアナリゼさせたりする時間を多くとり、教え合いや話し合いを取り入れることで技能と知識につながりが持てるように指導する。
	思考力, 判断力, 表現力等	表現活動（リズムアンサンブルやバイオリン）の中で工夫する点や、アピールする点について考えながら表現活動を行ったが、スムーズにできた生徒と、基本的な内容だけで時間がかかり、発展させられなかった生徒がいた。時間設定を工夫していきたい。	今後多くなりそうな歌唱活動の場面において、工夫する点や分析する点について、考える時間を保証する。またワークシートを工夫して考えやすくしたり、楽譜への書き込み方では具体的にヒントを出すなど、思考判断がしやすい状況を作る。
	学びに向かう力, 人間性等	どのクラスも3年生になったという自覚が生まれており、学習する気持ちが授業態度に出ている。しかし少数ではあるが毎回持ち物を忘れてくる生徒もいる。学習を補充する提出物は概ね大変努力が見られる。	授業の展開が昨年度のようにはできないので、新しい授業形態に慣れるよう、授業の形態をパターン化し、繰り返したり見通しを持たせたりしたい。また、やることのゴールと評価が見やすくなるような課題の提示方法をとる。
美術	知識及び技能	表現方法を創意工夫して、創造的に表すことのできる生徒はほぼ全員だが、それを自ら主体的に取り組むことのできる生徒は2/3程度である。	机間指導や周りの人の作品を鑑賞させる等、アプローチしていきたい。
	思考力, 判断力, 表現力等	最適な工夫の仕方を生徒自身で発見させられるように、授業内容や机間指導での助言等を考慮している。発想力はあるので、表現方法の工夫を課題としている生徒が多い。	表現の工夫を重ねて自分が1番よいと思う作品を提出できる、シルクスクリーンの制作を行った。今後も失敗を恐れずに表現できるようにサポートしていきたい。
	学びに向かう力, 人間性等	意欲的に授業に参加し、主体的に創作活動を行う生徒が多い。	今後も生徒の期待に応えられるような魅力のある授業を行っていきたい。また、卒業までに美術で習得しておくべきことを日常生活と関連付けて教えていきたい。

# 令和2年度授業改善推進プラン

## 東村山市立東村山第五中学校 第3学年

教科等	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策 【主体的・対話的で深い学び】
保健体育	知識及び技能	健康の保持増進のために、意欲的に授業に取り組む生徒が多い。一方で、技能は身につけているが、ルールを理解や身体の動かし方の知識を理解しきれていない生徒も多い。また体力や技能に大きな差がみられる。	I C T機器を活用し、理解を深める。単元に合わせたコーディネーショントレーニングを実践したり、反復的な練習を重視しながら授業を進めていく。
	思考力, 判断力, 表現力等	指示に対しては取り組もうとする姿勢があるが指示待ちが多く見られる。自分の考えを相手に伝える力に課題が見られる。	記録や技能テスト、学習カードでの振り返りを活用して、自己の課題を明確にさせる。また、生徒同士の話し合いの時間を多くとり、主体的に課題を解決できるように指導していく。
	学びに向かう力, 人間性等	人とかかわり合いながら磨かれる力を期待したい。互いに協力し合い課題に取り組み分析しあう力を身につけさせたい。	考えて行動する、考えたことを仲間伝える、そして目標に近づけられるよう生徒が主体的に活動できる環境を設定し支援する。個別の対応、集団の対応を適宜行う。
技術・家庭	知識及び技能	作業に関する知識はあるものの、玩具を製作する技能やP C機器操作の技能が低下している。	ワークシートの活用や優れた作品を紹介し、作業進捗の確認と個別指導を充実させる。
	思考力, 判断力, 表現力等	工夫したデザインに応じた刺しゅうができず、安易に課題や作品を完成させる傾向がある。P C操作による作品も表現力が乏しい。	創造工夫のポイントや仕上がりを例示し、完成イメージをもたせる。
	学びに向かう力, 人間性等	家族や地域との関わりや情報社会の問題を自身の生活に結び付けられていない。	授業で学んだことを実社会の中で将来にわたり役だてて、柔軟な発想と豊かな生活を送る方法を考えさせる。
英語	知識及び技能	多くの生徒が英語でのコミュニケーション活動に関心をもっている。音読やQ & Aにも積極的に取り組んでいる。	音読、単語テストをすることで、普段から単語や英文の読みや文法を覚えるように心がけ、意欲を高める工夫をする。
	思考力, 判断力, 表現力等	学習した初歩的な英語を使うことはできるが、文章にして表現することに課題のある生徒が多い。読む力は少しずつ定着してきているが、自分で考えたことを話す、書くなどの力にはまだ課題が多くみられる。	スピーチを実施し、原稿作成を通してライティングとスピーキング力を高め、自己表現する力をつけさせる。
	学びに向かう力, 人間性等	多くの生徒が英語でのコミュニケーション活動に関心を持っている。音読やQ & Aにも積極的に取り組んでいる。また、単語テストも意欲的に取り組んでいる。	毎回の授業開始時に、Q & Aや語彙活動を積極的に取り入れ、コミュニケーションをとる力をさらに高める。

# 令和2年度授業改善推進プラン

## 東村山市立東村山第五中学校 第3学年

教科等	資質・能力	現在の児童・生徒の実態や授業についての分析	授業改善のための具体的な方策 【主体的・対話的で深い学び】
道徳	道徳的な感じ方・考え方や行為（道徳的心情）	道徳的な価値について、1・2年生の時よりも感じ方が深まりをもっている生徒が多い。授業では、多様な視点から考えが出ており、内容によっては深い議論につなげることもできる。	自分自身のことや周囲との関わりについての考え方を、進路指導を通して向き合わせ、深めさせたい。社会に出ても通用していける感覚をもたせていきたい。
	道徳的な問題場面で思考し判断する力（道徳的判断力）	道徳的な価値について、あるべき方向性で思考し、判断できる生徒が多い。一部の生徒には、あるべき方向性で思考することはできるが、行動に伴わせることができない面が見られる。	具体的な場面を想定して、どのように行動したらよいかを考えさせる。また、他者がどのように考えるかを積極的に知っていくことで、考えを広げさせていく。
	道徳的によりよく生きようとする傾向性（道徳的实践意欲と態度）	集団生活の中で、道徳性を発揮している生徒は多い。しかし、一部の生徒には、道徳的实践意欲の低さも見られるので、道徳の授業を軸に、様々な機会を通して実践的態度を養う必要がある。	道徳の授業では、思考した内容が日頃の生活につながるような展開や発問を設定する。道徳の授業以外の場面でも、授業中の学びが生かせるように声かけを行う。
特別活動	集団活動や生活への知識・技能	大半の生徒がよりよい集団生活を送るために必要な知識や技能を身につけていたが、2年生当初は中だるみが出てきていたが、3学期からは最上級学年になる気持ちになってきた。一部の生徒は幼く、集団活動の意義や役割を理解していない。	最上級生として学校の中心となり、いろいろな技能を身につけ、実践し、その振り返りを行うことで、学校生活全般で自分たちの役割を認識させたい。
	集団活動や生活への思考・判断・表現	所属する集団での話し合い活動を通して、思考・判断・表現力を高めていこうとしているが、横の連携が弱いためにクラスによって取り組みや判断に温度差がみられる。表現力が未熟な生徒も少なくはない。	委員会活動などを通して、横の連携を強め学年全体が正しい判断のもとでいろいろな活動を行ってほしい。そのためには、今年度もサブリーダーの養成に力を入れたい。
	集団活動や生活へ主体的に取り組む態度	委員会活動や係活動では自らの役割に責任をもてる生徒が多く見られる。ただし、その中心生徒をフォローをする生徒が少ないため、継続する力が弱まってしまう。自ら課題を見つけるが、それを改善しようとする具体的な手立てまで考え、実行する生徒は少ない。	生徒一人一人に、より良い集団生活を形成する一員であることに気づかせ、中心となるリーダーをフォローする生徒をもっと増やしたい。手助けになるアドバイスをタイミングよく行いたい。
総合的な学習の時間	課題設定の能力と主体的な学習の態度	自分の興味・関心の高い分野においては、積極的に知識・技能を習得しようとする。他の場合は、取りかかりが遅く、時間がかかる。	調べ学習が身につけていく過程がわかる指導方法・取り組みをさせる。
	問題を解決する資質や能力と発表する力	面倒なことを嫌がる傾向もあるが、大半の生徒が情報収集と発表の力が高まっている。個人差が大きい。	時間をかけ丁寧に指導することと、情報収集と発表をする機会を設定していく。
	自己を理解し、職業や将来の生き方を考える力	自らの進路や将来の目標の設定や展望を苦手とする生徒も多い。他者との関わりについては、徐々に自己実現をしつつ他者とも円滑に関係を築いていける力を伸ばしたい。	昨年度までの上級学校訪問等の経験を生かしつつ、現実的な自分の問題として意識を高め、将来を考えさせたい。